

市民が親しみと誇りを感じる海辺であってほしい

機能性とデザイン性を兼ね備えた景観が求められる東部地区。
回遊性を持たせた港づくりが必要な都心部地区。
海をより身近に感じとれる提案型の情報発信が期待される西部地区。
海や港がもっと市民に親しみのある場所になってほしい。
博多湾水際ウォッチングに参加し、そんな気持ちを持ったメンバーたちがさまざまな課題をあげてくれた。



永井 目からウロコが落ちましたよ。福岡ってこんなに海が近かったんですね。これまで福岡を港町だと認識していた人がどのくらいいたでしょう。博多港は九州の経済、エネルギー、生活を支える重要な拠点として大いに活躍しているにもかかわらず、「港」としての印象は市民に薄いような気がします。福岡は陸路も空路も便利がよく、天神・博多という都心部を中心に発展しているの、神戸や横浜のように港を中心に「まち」を意識するという習慣がないのかもしれないですね。

長谷川 でも今回のように海を通して福岡を見なおすと、港がどんなに私たちの生活に密着し、重要なものかということに気づかされます。

出口 博多湾って、琵琶湖よりも小さい面積の中にさまざまな機能が集積しているわけです。だからバラエティに富んだ景観が結集していますよね。博多湾は大きく3つのゾーンに分かれています。まず、香椎パークポートに代表される物流施設。海から見るとここが九州の産業のかなめであることがよくわかります。そして都心部に近い博多・中央心頭。福岡の玄関口として人々の交流が活発ですよ。3番目は海辺都市をつくり上げているシーサイドももち周辺。ここはやっぱり福岡のシンボリックな景観だなと感じます。

川橋 シーサイドももちにはなかなか足を運ぶことはないんですが、こうして海から望むと、あらためて福岡を代表する景観だなあって感じます。

長谷川 ただ、シーサイドももち周辺の住民からの親近感はあるものの、他の地域の人々が気軽に立ち寄れる場所としての機能に少し欠けていますよね。人が気軽に集い憩うためのしくみづくりや海を楽しむ提案型の情報発信

出口 そうですね。今後は倉庫やコンテナなど機能性とデザイン性を兼ね備えたものも求められるのではないのでしょうか。

長谷川 東部地区は、現在埋め立てが進められているアイランドシティの完成によってまた大きく表情を変えるんじゃないでしょうか。

出口 都心部に近い博多・中央心頭ですが、国際ターミナル、マリナーズ、ベイサイドプレイスなど個々の施設が結びつききつかけづくりが必要だと思います。

長谷川 ええ。そのためにはハード面だけでなく、回遊性を持たせるためのソフト展開が大切だと思います。ここは博多港の中心として人々の動きのある景観が期待できる場所ですね。

出口 皆さんの意見を聞いてみると、他の人にも海から福岡のまちを見せたいと感じているようですね。開港100周年に限らずこれからも海や港に親しみが持てるような機会を市民に作ってほしい。21世紀に向けて博多港のマスタープランをもう一度見直し、シーサイドももちのまちづくりで産業界と行政が連携したように、今度は市民をプラスしてプランを考えてもらわなければ。景観は誰のためのものか。海辺がもっと市民に開放された場所になることを望んでいますし、そうならないといけないでしょうね。

